

## 検査項目

## 測定参考文献

### 蛋白・膠質反応

総蛋白(TP)	金井 泉: 臨床検査提要 第31版 (金原出版): 476 ~ 478, 1998.
アルブミン(Alb)	佐々木 真弓,他: 機器・試薬 26 (4): 335 ~ 338, 2003.
尿中アルブミン	石井 周一,他: 日本臨床検査自動化学会誌 12: 144 ~ 148, 1987.
尿中アルブミン(クレアチニン換算値)	石井 周一,他: 日本臨床検査自動化学会誌 12: 144 ~ 148, 1987.
A/G比	浅井 孝道: 検査と技術 7 (10): 815 ~ 820, 1979.
蛋白分画	伊藤 喜久: Medical Technology 39 (3): 278 ~ 284, 2011.
尿中蛋白分画	伊藤 喜久: Medical Technology 39 (3): 278 ~ 284, 2011.
チモール混濁反応(TTT)	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第34版 (金原出版): 458 ~ 459, 2015.
クンケル反応(ZTT)	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第34版 (金原出版): 458 ~ 459, 2015.

### 酵素および関連物質

CK(CPK)	大澤 進: 臨床検査 37 (5): 512 ~ 518, 1993.
CK-MB(CPK-MB)[免疫阻止-UV法]	Wurzburg U et al: Klinische Wochenschrift 54: 357 ~ 360, 1976.
CK-MB(CPK-MB)[CLIA]	Pirani U et al: Clinical Chemistry 33 (9): 1517 ~ 1520, 1987.
CK(CPK)アイソザイム	高木 康,他: 臨床検査 32 (11): 1309 ~ 1315, 1988.
AST(GOT)	中野 尚美: 臨床検査 37 (5): 506 ~ 511, 1993.
ミトコンドリア-AST(m-AST)(m-GOT)	白波瀬 泰史,他: 第7回日本臨床化学会分析部会関東支部学術集会 講演会抄録集: 40 ~ 44, 1989.
ALT(GPT)	中野 尚美: 臨床検査 37 (5): 506 ~ 511, 1993.
LD(LDH)	大澤 進: 臨床検査 37 (5): 512 ~ 518, 1993.
LD(LDH)アイソザイム	森山 隆則,他: Medical Technology 25 (1): 45 ~ 51, 1997.
アルカリフォスファターゼ(ALP)	日本臨床化学会: 臨床化学 19 (2): 209 ~ 227, 1990.
骨型アルカリフォスファターゼ(BAP)	倉澤 健太郎,他: 医学と薬学 55 (2): 279 ~ 285, 2006.
ALPアイソザイム	芝 紀代子: 目でみる電気泳動法2 (医歯薬出版): 55 ~ 71, 1989.
γ-GT(γ-GTP)	山館 周恒: 臨床検査 37 (5): 519 ~ 526, 1993.
アルドラーゼ	三浦 雅一,他: 臨床検査機器・試薬 12 (5): 1005 ~ 1009, 1989.
コリンエステラーゼ(ChE)	大澤 進,他: 臨床化学 24: 138 ~ 145, 1995.
グアナーゼ	手登根 稔,他: 検査と技術 13 (10): 901 ~ 905, 1985.
アデニンデアミナーゼ(ADA)	佐野 史良,他: 臨床検査機器・試薬 9 (4): 715 ~ 720, 1986.
ロイシンアミノペプチダーゼ(LAP)	小林 照明,他: 機器・試薬14 (6): 929 ~ 935, 1991.
アミラーゼ(AMY)(血清)	馬島,他: 臨床化学 26: 63, 1997.
アミラーゼ(AMY)(尿)	高笠 信之: The Chemical Times 201 (3): 9 ~ 11, 2006.
アミラーゼアイソザイム	星野 忠: 日本臨床検査自動化学会誌 37 (3): 293 ~ 297, 2012.
P型アミラーゼ定量	高笠 信之: The Chemical Times 201 (3): 9 ~ 11, 2006.
リパーゼ	松井 静代,他: 医学と薬学 41 (3): 489 ~ 496, 1999.
トリプシン	河野 幹彦,他: 医学と薬学 53(5):635~641, 2005.
膵ホスホリパーゼA <sub>2</sub> (膵PLA <sub>2</sub> )	竹田 昌弘,他: ホルモンと臨床 38 (7): 729 ~ 734, 1990.
エラスターゼ1	大出 勝也,他: 肝と膵 23(6):477~480, 2002.
子宮頸管粘液中 顆粒球エラスターゼ	北村 光,他: 臨床検査機器・試薬 21 (4): 357 ~ 361, 1998.
骨型酒石酸抵抗性酸性フォスファターゼ(TRACP-5b)	西沢 良記,他: 医学と薬学 54 (5): 709 ~ 717, 2005.
リゾチーム	北村 元仕: 実践臨床化学 増補: 432 ~ 436, 1982.
アンギオテンシン I 転換酵素(ACE)	Kasahara Y et al: Clinical Chemistry 27 (11): 1922 ~ 1925, 1981.
ペプシノゲン	北内 信太郎,他: Progress in Medicine 21: 2451 ~ 2457, 2001.
MMP-3 (マトリックスメタロプロテイナーゼ-3)	氏家 真二,他: 医学と薬学 67 (5): 741 ~ 747, 2012.

### 低分子窒素化合物

クレアチン	今野 稔: Medical Technology 12 (3): 270 ~ 276, 1984.
クレアチニン	安原 正善,他: 臨床検査機器・試薬 17 (1): 59 ~ 67, 1994.
シスタチンC	Tanaka M, et al: Clinical Biochemistry 37: 27 ~ 35, 2004.
尿酸(UA)	金井 泉,他: 臨床検査法提要 第32版 (金原出版): 503 ~ 507, 2005.
尿素窒素(UN)	森下 芳孝: Medical Technology 26 (6): 695 ~ 700, 1998.
アンモニア	奥田 拓道,他: 最新医学 21 (3): 622 ~ 627, 1966.
アミノ酸分析(39種類)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al: Biomedical Chromatography 24: 683 ~ 691, 2010.
アミノ酸分析(41種類)	日本生化学会: 生化学実験講座11 アミノ酸代謝と生体アミン 1版: 53 ~ 67, 1976.
アミノ酸分析(9種類)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al: Biomedical Chromatography 24: 683 ~ 691, 2010.
アミノ酸分析2種類(チロシン・フェニルアラニン)(LC/MS)	Kazutaka Shimbo et al: Biomedical Chromatography 24: 683 ~ 691, 2010.
総分岐鎖アミノ酸/チロシンモル比(BTR)	中村 俊之,他: 臨床病理 37 (8): 911 ~ 917, 1989.
γ-アミノ酪酸(GABA)	Fujiwara M et al: Analytical Biochemistry 166: 72 ~ 78, 1987.
総ホモシステイン	Araki A et al: Journal of Chromatography 422: 43 ~ 52, 1987.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 糖質および関連物質

グルコース	日本臨床化学会試薬専門委員会：臨床化学 20 (4)：247～254, 1991.
ヘモグロビンA1c(HbA1c)(NGSP)	平田 稔,他：医学と薬学 34 (1)：125～136, 1995.
グリコアルブミン	永峰 康孝,他：医学と薬学 51：737～745, 2004.
ヒアルロン酸(血清)	島村 朗,他：医学と薬学 44 (6)：1141～1146, 2000.
ヒアルロン酸(胸水)	島村 朗,他：医学と薬学 44 (6)：1141～1146, 2000.
1,5-アンヒドロ-D- グルシトール(1,5AG)	遠藤 輝夫,他：医療と検査機器・試薬 26 (1)：45～50, 2003.
シアル酸	水田 亘,他：臨床病理 特(54)：128～134, 1983.

### 有機酸

乳酸	浅沼 和子,他：生物試料分析 8 (3)：16～24, 1985.
ビルビン酸	浅沼 和子,他：生物試料分析 8 (3)：16～24, 1985.
尿中シュウ酸	小川 由英,他：腎と透析 臨増：151～157, 1997.
クエン酸	Warty VS et al：Clinical Chemistry 30 (7)：1231～1233, 1984.
血中ケトン体分画(静脈血)	西ヶ谷 晴美,他：医学検査 45 (3)：353, 1996.
血中ケトン体分画(動脈血)	西ヶ谷 晴美,他：医学検査 45 (3)：353, 1996.
アセトン定量	深堀 すみ江,他：労働科学 59 (12)：555～562, 1983.

### 脂質および関連物質

中性脂肪(TG)	仁科 甫啓：臨床検査(増) 22：1304, 1978.
リン脂質	Takayama M et al：Clinica Chimica Acta 79：93～98, 1977.
総コレステロール(T-Cho)	桜井 強：医学検査 47 (4)：747～752, 1998.
エステル型コレステロール(Echo)	Richmond W：Clinical Chemistry 19 (12)：1350～1356, 1973.
遊離コレステロール(F-Cho)	Richmond W：Clinical Chemistry 19 (12)：1350～1356, 1973.
コレステロールエステル比	Richmond W：Clinical Chemistry 19 (12)：1350～1356, 1973.
HDL-コレステロール	佐藤 幸男,他：臨床検査 28：593, 1984.
HDL2,3コレステロール	Bronzert TJ et al：Clinical Chemistry 23 (11)：2089～2098, 1977.
LDL-コレステロール	菅野 剛史,他：医学と薬学 37 (3)：635～644, 1997.
レムナント様リポ蛋白コレステロール(RLP-C)	大石 千早,他：日本臨床検査自動化学会誌 35 (1)：83～87, 2010.
酸化LDL(MDA-LDL)	小谷 一夫：酸化ストレスマーカー 学術出版センター：243～246, 2005.
脂肪酸分画(24成分)	小沢 昭夫,他：分析化学 31：87～91, 1982.
脂肪酸分画(4成分)	小沢 昭夫,他：分析化学 31：87～91, 1982.
総胆汁酸	今野 稔：臨床検査機器・試薬 16 (3)：472～479, 1993.
グリココロール酸(CG)	金森 勇雄,他：日本放射線技師会雑誌 26 (4)：17～22, 1978.
β-リポ蛋白	金井 正光,他：臨床検査法提要 第32版 (金原出版)：548, 2005.
リポ蛋白分画(アガロースゲル電気泳動法)	芝 紀代子：目でみる電気泳動法 2：91～99, 1989.
リポ蛋白分画(ポリアクリルアミドゲルディスク電気泳動法)	菅原 和行,他：衛生検査 27 (5)：624～627, 1978.
リポ蛋白脂質分画定量	Bronzert TJ et al：Clinical Chemistry 23 (11)：2089～2098, 1977.
リポ蛋白コレステロール(LP-C)分画定量	Bronzert TJ et al：Clinical Chemistry 23 (11)：2089～2098, 1977.
コレステロール分画	櫻林 郁之介,他：HDL-コレステロール基礎と臨床 (株)テクノ：207～220, 1980.
リポ蛋白(a)	岡野 芳幸,他：日本臨床検査自動化学会誌 21 (5)：705～709, 1996.
リポ蛋白リパーゼ(LPL)	Kobayashi J et al：Clinica Chimica Acta 216：113～123, 1993.
アポリポ蛋白 A-I	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1997.
アポリポ蛋白 A-II	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1997.
アポリポ蛋白 B	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1997.
アポリポ蛋白 C-II	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1997.
アポリポ蛋白 C-III	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1997.
アポリポ蛋白 E	岡崎 伸次,他：日本臨床検査自動化学会誌 12 (4)：334, 1997.
アポリポ蛋白Eフェノタイプ	片岡 伸久朗,他：臨床検査 37 (12)：1267～1271, 1993.
肺サーファクタント プロテインA(SP-A)	大木 卓,他：医学と薬学 71 (1)：161～166, 2014.
肺サーファクタント プロテインD(SP-D)	田中 誠仁, 佐藤 高明,他：医学と薬学 59 (3)：439～446, 2008.

### ビタミンおよび関連物質

β-カロチン	加美山 茂利,他：臨床検査 31 (3)：268～274, 1987.
ビタミンA	須原 聡,他：臨床検査 36 (3)：235～239, 1992.
ビタミンB <sub>1</sub>	宮川 秀則,他：生物試料分析 36 (4)：327～330, 2013.
ビタミンB <sub>2</sub>	大石 誠子：ビタミンハンドブック3 ビタミン分析法 (化学同人)：71～80, 1989.
ビタミンB <sub>6</sub>	吉田 継親,他：薬学雑誌 98 (10)：1319～1326, 1978.
ビタミンB <sub>12</sub>	中森 誠,他：医療と検査機器・試薬 27 (3)：215～221, 2004.

## 検査項目

## 測定参考文献

### ビタミンおよび関連物質

カルニチン分画	伊丹 儀友,他:臨床検査58 (5): 651 ~ 658, 2014.
ビタミンC(アスコルビン酸)	Lykkesfeldt J et al:Analytical Biochemistry 229:329~335, 1995.
25OHビタミンD(ECLIA)	Batista MC, et al:Clin Chem Lab Med / doi : 10.1515/ccim-2018-0406 : Jun 11, 2018.
1,25-(OH) <sub>2</sub> ビタミンD	Fraser WD et al:Ann Clin Biochem 34:632~637, 1997.
ビタミンE	阿部 皓一,他:栄養と食糧 28 (5): 277 ~ 280, 1975.
ビタミンE分画	阿部 皓一,他:ビタミン 49 (7): 259 ~ 263, 1975.
ビタミンK分画	langenberg JP et al : Journal of Chromatography 305 : 61 ~ 72, 1984.
葉酸	西村 和子,他:生物試料分析 35 (4): 300 ~ 309, 2012.
ニコチン酸(ナイアシン)	宮沢 滋:ビタミン 56 (9・10): 487 ~ 499, 1982.

### 電解質・血液ガス

Na(ナトリウム)	桑 克彦:臨床検査 34 (11): 1353 ~ 1358, 1990.
K(カリウム)	桑 克彦:臨床検査 34 (11): 1353 ~ 1358,1990.
Cl(クロール)	関口 光夫:検査と技術 17 (9): 1167 ~ 1172,1989.と桑 克彦:臨床検査 34 (11): 1353 ~ 1358,1990.
Mg(マグネシウム)	渡辺 寛人,他:分析化学 26 : 635 ~ 639, 1977.
Ca(カルシウム)	根占 哲也:都臨技会誌 34 (5): 270 ~ 281, 2006.
イオン化カルシウム	桑 克彦:検査と技術 19 (2): 119 ~ 124, 1991.
P(無機リン)	Drewes PA : Clinica Chimica Acta 39 : 81 ~ 88, 1972.
浸透圧(血清)	鈴木 明,他:検査と技術 6 (9): 759 ~ 762, 1978.
浸透圧(尿)	鈴木 明,他:検査と技術 6 (9): 759 ~ 762, 1978.

### 生体微量金属

鉄(Fe)(血清)	堀口 大吉,他:分析化学会第29年会講演要旨集3B21, 1980.
鉄(Fe)(尿)	溝口 秀昭:臨床医 8 (10): 1624 ~ 1626, 1982.
総鉄結合能(TIBC)	山田 満廣:日本臨床検査自動化学会誌 13 : 659 ~ 665, 1988.
不飽和鉄結合能(UIBC)	山田 満廣:日本臨床検査自動化学会誌 13 : 659 ~ 665, 1988.
Cu(銅)(血清)	Abe A et al : Clinical Chemistry 35 (4): 552 ~ 554, 1989.
Cu(銅)(尿)	Ichida T et al : Clinica Chimica Acta 24 : 299 ~ 303, 1969.
Zn(亜鉛)(血清)	井上 哲,他:医療と検査機器・試薬 41 (3): 283 ~ 287, 2018
Zn(亜鉛)(尿)	Meret S et al : Clinical Chemistry 17 (5): 369 ~ 373, 1971.

### 生体色素関連物質

総ビリルビン(T-Bil)	徳田 邦明,他:臨床化学 22 (2): 116 ~ 122, 1993.
ビリルビン分画(直接・間接)	徳田 邦明,他:臨床化学 22 (2): 116 ~ 122, 1993.
コプロポルフィリン 定性	近藤 雅雄:日本臨床 53 (6): 1377 ~ 1382, 1995.
コプロポルフィリン(尿)	近藤 雅雄:日本臨床 53 (6): 1377 ~ 1382, 1995.
コプロポルフィリン(血液)	Salmi M et al : Clinical Chemistry 26 (13): 1832 ~ 1835, 1980.
ウロポルフィリン(尿)	近藤 雅雄:日本臨床 53 (6): 1377 ~ 1382, 1995.
ウロポルフィリン(血液)	Salmi M et al : Clinical Chemistry 26 (13): 1832 ~ 1835, 1980.
赤血球遊離プロトポルフィリン	新沼 幸子,他:産業医学 23 : 254 ~ 259, 1981.
δ-アミノレブリン酸(δALA)	園藤 陽子,他:産業医学 35 : 126 ~ 127, 1993.

### 毒物・産業医学的代謝物質

尿中総三塩化物 トリクロルエチレン	城山 康,他:松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中総三塩化物 1・1・1-トリクロルエタン	城山 康,他:松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中総三塩化物 テトラクロルエチレン	城山 康,他:松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中トリクロル酢酸 トリクロルエチレン	城山 康,他:松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中トリクロル酢酸 1・1・1-トリクロルエタン	城山 康,他:松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中トリクロル酢酸 テトラクロルエチレン	城山 康,他:松仁会医誌 25 (2): 225 ~ 231, 1986.
尿中馬尿酸	岸浪 菊江子,他:臨床化学 17 (3): 128 ~ 135, 1988.
尿中メチル馬尿酸	岸浪 菊江子,他:臨床化学 17 (3): 128 ~ 135, 1988.
尿中マンデル酸	岸浪 菊江子,他:臨床化学 17 (3): 128 ~ 135, 1988.
尿中N-メチルホルムアミド	Mraz J et al : Journal of Chromatography 414 : 399 ~ 404, 1987.
尿中2,5-ヘキサンジオン	Iwata M et al : Int Arch Occup Environ Health 51 : 253 ~ 260, 1983.
アルミニウム(Al)	Oster O : Clinica Chimica Acta 114 : 53 ~ 60, 1981.
クロム	松岡 澄:産業医学13 (6): 525 ~ 537,1971.と田中 俊行,他:医学と生物学101 (5): 277 ~ 281,1980.
カドミウム	Lagesson V et al : Clinical Chemistry 25 (11): 1948 ~ 1953, 1979.
マンガン	Tsalev DL et al : Bulletin of Environmental Contamination & Toxicology 17 (6): 660 ~ 666, 1977.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 生化学(その他)

ネオプテリン	Hausen A et al : Journal of Chromatography 227 : 61 ~ 70, 1982.
エタノール	馬嶋 正隆,他 : 北里医学 14 : 424 ~ 430, 1984.
イヌリン定量	木全 伸介,他 : 医療と検査機器・試薬 28 (2) : 143 ~ 149, 2005.
結石分析(成分比率)	神 ちひろ,他 : 分析化学 53 (7) : 735 ~ 741, 2004.

### 負荷試験・機能検査

PFD(PABA排泄率)	Yamato C et al : Analytical Biochemistry 98 : 13 ~ 17, 1979.
--------------	--

### 抗菌薬

アミカシン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
トブラマイシン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
ゲンタマイシン	石橋 みどり,他 : 医学と薬学 42 (6) : 1061 ~ 1074, 1999.
バンコマイシン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
テイコプラニン	諸岡 美里,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 38 (1) : 79 ~ 82, 2013.

### 抗てんかん薬

カルバマゼピン	岡崎 伸次,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 13 : 67 ~ 72, 1988.
ジアゼパム	Brodie RR et al : Journal of Chromatography 150 : 361 ~ 366, 1978.
エトスクシמיד	宮本 侃治 : 臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
フェノバルビタール	岡崎 伸次,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 13 : 67 ~ 72, 1988.
フェニトイン	岡崎 伸次,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 13 : 67 ~ 72, 1988.
遊離フェニトイン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
プリミドン	宮本 侃治 : 臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
バルプロ酸	岡崎 伸次,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 13 : 67 ~ 72, 1988.
遊離バルプロ酸	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
トリメタジオン	斉藤 正行,他 : ドラッグレベルモニタリング 治療への臨床化学的アプローチ : 100 ~ 110, 1982.
ゾニサミド	安田 真依,他 : 医療と検査機器・試薬 38 (2) : 205 ~ 210, 2015.
トピラマート	Matar, K M : Clinica Chimica Acta 411 : 729 ~ 734, 2010.
レベチラセタム	Mendu, D R, Soldin S J : Clinical Biochemistry 43 : 485 ~ 489, 2010.
ベランパネル	Mano Y, et al : J Pharm Biomed Anal 107 : 56 ~ 62, 2015.
ラコサミド	Drew Payto, et al : Bioanalysis 6 (23) : 3161 ~ 3168, 2014.
アセタゾラミド	Sadee W et al : ドラッグレベルモニタリング : 90 ~ 91, 1982.

### 免疫抑制薬

シクロスポリン	古屋 実,他 : 医学と薬学 70 (5・6) : 961 ~ 973, 2013.
タクロリムス	古屋 実,他 : 医学と薬学 70 (5・6) : 961 ~ 973, 2013.
ミコフェノール酸	細坪 秀夫,他 : 今日の移植 14 (4) : 485 ~ 491, 2001.

### 循環器用薬

ジゴキシン	水内 由利,他 : 医学と薬学 35 (4) : 847 ~ 851, 1996.
ジソピラミド	扇谷 茂樹,他 : 臨床検査機器・試薬 6 (2) : 520 ~ 523, 1983.
リドカイン	宮本 侃治 : 臨床化学 6 (3) : 202 ~ 211, 1978.
フロカインアミド	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
プロプラノロール	Ahnoff M et al : Journal of Chromatography 340 : 73 ~ 138, 1985.
ビルメノール	市川 林,他 : 臨床医薬 11 (4) : 903 ~ 906, 1995.
キニジン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.

### 精神神経用薬

ハロペリドール	白井 晶子,他 : 医学と薬学 49 (6) : 1011 ~ 1017, 2003.
フロムペリドール	白井 晶子,他 : 医学と薬学 50 (1) : 101 ~ 107, 2003.
リチウム	細羽 恵美子,他 : 臨床化学 46 (1) : 39 ~ 46, 2017.

### 薬物(その他)

アセトアミノフェン	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
テオフィリン	中埜 未春,他 : 病院薬学 5 : 36 ~ 40, 1979.
サリチル酸	木村 英樹,他 : 日本臨床検査自動化学会誌 33 (5) : 860 ~ 864, 2008.
ヘパリン	Teien A et al : Thrombosis Reseach 8 (3) : 413 ~ 416, 1976.
メトトレキサート	中原 佑香里,他 : 医学と薬学 72 (4) : 761 ~ 767, 2015.
イマチニブ	Bakhtiar, R, et al : Journal of Chromatography B 768 : 325 ~ 340, 2002.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 血液一般・形態検査

血液一般検査	小笠原 由佳,他:医学と薬学 58 : 769 ~ 775, 2007.
好酸球数	ウイリアムズ血液学, 臨床血液全書, 血液病アトラス, 血液細胞アトラス
網状赤血球(RET)	小笠原 由佳,他:医学と薬学 58 : 769 ~ 775, 2007.
末梢血液像	小笠原 由佳,他:医学と薬学 58 : 769 ~ 775, 2007.
好中球アルカリフォスファターゼ(AL-P染色スコア)	古沢 新平:臨床検査技術全書3 血液検査(三輪史朗編)第1版 (医学書院): 134 ~ 136, 1972.
鼻汁中好酸球	奥田 稔:臨床検査 29 (3): 267 ~ 272, 1985.

### 凝固・線溶関連検査

活性化部分 トロンボプラスチン時間(APTT)	日野 志郎:臨床検査講座 15 血液学: 244 ~ 250, 1984.
プロトロンビン時間(PT)	高宮 脩:臨床検査機器・試薬 17 (6): 1079 ~ 1085, 1994.
トロンボテスト(TT)	磯貝 広輝,他:医学と薬学 29 : 1019 ~ 1025, 1993.
ヘパラスチンテスト(HPT)	金井 泉,他:臨床検査法提要 改訂第30版 (金原出版): 1406, 1993.
フィブリノーゲン(FIB)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第33版 (金原出版): 358 ~ 360, 2010.
可溶性フィブリンモノマー複合体(SFMC)	Largo R et al : Blood 47 (6) : 991 ~ 1002, 1976.
フィブリンモノマー複合体定量	内藤 澄悦,他:医学と薬学 48 (4) : 595 ~ 599, 2002.
FDP定量(血漿)	盛谷 亮介,他:医学と薬学 47 : 977 ~ 984, 2002.
FDP定量(尿)	堀内 伸純,他:臨床検査機器・試薬 14 (2) : 267 ~ 270, 1991.
Dダイマー	佐野 将也,他:臨床検査機器・試薬 20 (2) : 301 ~ 308, 1997.
アンチトロンビンⅢ(ATⅢ)	Scully MF et al : Clinica Chimica Acta 79 : 595 ~ 602, 1977.
トロンビン・アンチトロンビンⅢ複合体(TAT)	木村 真波,他:医療と検査機器・試薬 33 (4) : 525 ~ 533, 2010.
ブラスミノゲン	Friberger P et al : Haemostasis 7 : 138 ~ 145, 1978.
アンチプラスミン( $\alpha$ 2プラスミンインヒビター)	Friberger P et al : Haemostasis 7 : 138 ~ 145, 1978.
$\alpha$ 2プラスミンインヒビター・プラスミン複合体(PICテスト)	徐 吉夫,他:臨床検査機器・試薬 16 (6) : 1107 ~ 1113, 1993.
トータルPAI-1 (tPA・PAI-1複合体)	曾我部 万紀,他:医学のあゆみ 173 (12) : 997 ~ 998, 1995.
凝固因子活性検査 第Ⅱ因子(F2)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅴ因子(F5)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅶ因子(F7)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅷ因子(F8)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅸ因子(F9)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅹ因子(F10)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅺ因子(F11)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固因子活性検査 第Ⅻ因子(F12)	安達 眞二: Medical Technology 24 (6) : 629 ~ 633, 1996.
凝固抑制因子検査 第Ⅷ(8)因子	Sirridge MS et al : Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd : 196 ~ 198, 1983.
凝固抑制因子検査 第Ⅸ(9)因子	Sirridge MS et al : Laboratory Evaluation of Hemostasis and Thrombosis 3rd : 196 ~ 198, 1983.
フォン・ウィルブラント因子活性(リストセチンコファクター)	Macfarlane DE et al : Thrombos Diathes Haemorth 34 : 306 ~ 308, 1975.
フォン・ウィルブラント因子マルチマー解析	高橋 芳右,他:臨床検査 31 (6) : 665 ~ 668, 1987.
ADAMTS13-活性	伊藤 晋,他:日本輸血細胞治療学会誌 56 (1) : 27 ~ 35, 2010.
ADAMTS13 インヒビター	伊藤 晋,他:日本輸血細胞治療学会誌 56 (1) : 27 ~ 35, 2010.
$\beta$ -トロンボグロブリン( $\beta$ -TG)	高橋 芳右,他:血液と脈管 18 (4) : 326 ~ 335, 1987.
血小板第4因子(PF-4)	高橋 芳右,他:血液と脈管 18 (4) : 326 ~ 335, 1987.
プロテインC(抗原量)	筒井 聡明,他:検査と技術 12 (7) : 581 ~ 587, 1984.
プロテインS(抗原量)	鬼沢 実:臨床検査機器・試薬 13 (4) : 579 ~ 583, 1990.
トロンボモジュリン	横内 敬二,他:医学と薬学 44 (4) : 795 ~ 802, 2000.

### 視床下部・下垂体ホルモン

成長ホルモン(GH)	小山 沙世,他:医学と薬学 68 (5) : 899 ~ 910, 2012.
IGF-Ⅰ(ソマトメジンC)	高須 重人,他:ホルモンと臨床 44 (4) : 383 ~ 391, 1996.
プロラクチン	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
副腎皮質刺激ホルモン(ACTH)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
黄体形成ホルモン(LH)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
卵胞刺激ホルモン(FSH)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7) : 819 ~ 830, 2017.
甲状腺刺激ホルモン(TSH)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3) : 317 ~ 326, 2017.
抗利尿ホルモン(AVP)	田中 誠仁,他:医学と薬学 72 (8) : 1379 ~ 1388, 2015.

### 甲状腺ホルモンおよび結合蛋白

トリヨードサイロニン( $T_3$ )	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3) : 317 ~ 326, 2017.
遊離トリヨードサイロニン(Free $T_3$ )	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3) : 317 ~ 326, 2017.
サイロキシン( $T_4$ )	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3) : 317 ~ 326, 2017.
遊離サイロキシン(Free $T_4$ )	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3) : 317 ~ 326, 2017.
サイログロブリン	古屋 実,他:医学と薬学 74 (3) : 317 ~ 326, 2017.
TBG定量	海瀬 信子,他:核医学16 (5) : 777 ~ 783, 1979.

### 副甲状腺ホルモン

副甲状腺ホルモン(PTH)-インタクト	山岡 美穂,他:医学と薬学 46 (5) : 753 ~ 758, 2001.
副甲状腺ホルモン(Whole PTH)	森山 和重,他:医学と薬学 70 (4) : 829 ~ 836, 2013.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 副甲状腺ホルモン

副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)	福本 誠二,他: ホルモンと臨床 40 (12): 1309 ~ 1314, 1992.
カルシトニン	北川 亘,他: 医学と薬学 72 (1): 97 ~ 108, 2015.

### 副腎皮質ホルモンおよび結合蛋白

17-KS7分画	石田 孝,他: 臨床化学 15 (1): 13 ~ 19, 1986.
17-KGS	神戸川 明: ホルモンと臨床 22 (11): 1311 ~ 1318, 1974.
17-KGS2分画	神戸川 明: ホルモンと臨床 22 (11): 1311 ~ 1318, 1974.
血中11-OHCS	宇田川 美佐子,他: 臨床化学 5 (3): 321 ~ 325, 1977.
コルチゾール	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
コルチゾール(尿)	福島 靖恵,他: 臨床検査機器・試薬 22 (6): 509 ~ 514, 1999.
11-デオキシコルチゾール	大橋 輝久,他: 日本内分泌学会雑誌 57 (7): 983 ~ 996, 1981.
コルチコステロン	Nabors CJ Jr et al: Steroids 23: 363 ~ 379, 1974.
デオキシコルチコステロン(DOC)	栃木 武一,他: ホルモンと臨床 24 (11): 1151 ~ 1156, 1976.
アンドロステロン	国分 知子,他: 日本内分泌学会雑誌 54 (2): 117 ~ 130, 1978.
デヒドロエピアンドロステロンサルフェート(DHEA-S)	増戸 梨恵,他: 医学と薬学 56 (3): 443 ~ 448, 2006.
アンドロステンジオン	吉田 孝雄,他: ホルモンと臨床 22 (5): 671 ~ 676, 1974.
プレグネノロン	田 根培,他: ホルモンと臨床 26 (3): 309 ~ 314, 1978.
17-OHプレグネノロン(17 $\alpha$ -OHプレグネノロン)	田 根培,他: ホルモンと臨床 26 (3): 309 ~ 314, 1978.
コルチゾン	遠藤 伸,他: ホルモンと臨床 45 (7): 707 ~ 714, 1997.
アルドステロン(血中)	塩之入 洋,他: 医学と薬学 21 (2): 293 ~ 302, 1989.
アルドステロン(尿)	塩之入 洋,他: 医学と薬学 21 (2): 293 ~ 302, 1989.

### 副腎髄質ホルモン

カテコールアミン3分画(血漿)	辻 潮,他: 臨床検査機器・試薬 11 (4): 635 ~ 641, 1988.
カテコールアミン3分画(尿)	Honda S et al: Analytica Chimica Acta 149: 297 ~ 303, 1983.
メタネフリン総	Shoup RE et al: Clinical Chemistry 23 (7): 1268 ~ 1274, 1977.
メタネフリン2分画	Shoup RE et al: Clinical Chemistry 23 (7): 1268 ~ 1274, 1977.
HVA(血漿)	Gironi A et al: Clinical Chemistry 34 (12): 2504 ~ 2506, 1988.
HVA(尿)	Gironi A et al: Clinical Chemistry 34 (12): 2504 ~ 2506, 1988.
VMA(血漿)	Gironi A et al: Clinical Chemistry 34 (12): 2504 ~ 2506, 1988.
VMA(尿)	Gironi A et al: Clinical Chemistry 34 (12): 2504 ~ 2506, 1988.
セロトニン(血液)	Anderson GM et al: Gastroenterology 88: 86 ~ 89, 1985.
セロトニン(血漿)	Nebinger P et al: Journal of Chromatography 427: 326 ~ 330, 1988.
5-HIAA(血漿)	小島 司,他: 臨床化学 21 (2): 119 ~ 126, 1992.
5-HIAA(尿)	Mailman RB et al: Clinical Chemistry 31 (11): 1849 ~ 1854, 1985.

### 性腺・胎盤ホルモンおよび結合蛋白

エストロン(E <sub>1</sub> )	牧野 拓雄,他: 日本内分泌学会雑誌 50 (4): 788 ~ 796, 1974.
エストラジオール(E <sub>2</sub> )(血清)	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
エストラジオール(E <sub>2</sub> )(尿)	牧野 拓雄,他: 日本内分泌学会雑誌 50 (4): 788 ~ 796, 1974.
エストリオール(E <sub>3</sub> )	牧野 拓雄,他: 日本内分泌学会雑誌 50 (4): 788 ~ 796, 1974.
プロゲステロン	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
テストステロン	古屋 実,他: 医学と薬学 74 (7): 819 ~ 830, 2017.
5 $\alpha$ ジヒドロテストステロン	穂坂 正彦,他: 日本内分泌学会雑誌 49 (12): 1391 ~ 1393, 1973.
絨毛性ゴナドトロピン(HCG)(CLEIA)	Cole LA et al: Clinical Chemistry 47 (2): 308 ~ 315, 2001.
遊離HCG- $\beta$ (HCG- $\beta$ サブユニット)(血清)	菅原 由人,他: 臨床検査機器・試薬 14 (3): 467 ~ 474, 1991.
遊離HCG- $\beta$ (HCG- $\beta$ サブユニット)(尿)	菅原 由人,他: 臨床検査機器・試薬 14 (3): 467 ~ 474, 1991.

### 膵・消化管ホルモン

インスリン	唐澤 美佳,他: 医療と検査機器・試薬 29 (5): 479 ~ 484, 2006.
C-ペプチド(CPR)(血清)	唐澤 美佳,他: 医療と検査機器・試薬 29 (5): 485 ~ 491, 2006.
C-ペプチド(CPR)(尿)	唐澤 美佳,他: 医療と検査機器・試薬 29 (5): 485 ~ 491, 2006.
膵グルカゴン	稲垣 貴之,他: 医学と薬学 72(3): 491 ~ 497, 2015.
ガストリン	飯沼 一茂,他: Radioisotopes 31 (7): 350 ~ 356, 1982.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 内分泌学的(その他)

レニン活性(PRA)	廣井 直樹,他:医学と薬学 32 (1): 81 ~ 86, 1994.
レニン定量(活性型)	土屋 ますみ,他:医学と薬学 32 (3): 529 ~ 534, 1994.
アンギオテンシン I	岩鼻 美佐,他:医学と薬学 36 (2): 297 ~ 303, 1996.
アンギオテンシン II	岩鼻 美佐,他:医学と薬学 36 (2): 297 ~ 303, 1996.
サイクリックAMP	孫 孝義,他:日本内分泌学会雑誌 61 (9): 912 ~ 923, 1985.
ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド(HANP)	松岡 泰弘,他:医療と検査機器・試薬 33 (4): 535 ~ 540, 2010.
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド(BNP)	伊藤 洋子,他:医学と薬学 64 (6): 931 ~ 939, 2010.
ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント(NT-proBNP)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (5): 607 ~ 617, 2017.
エリスロポエチン	増田 詩織,他:医学と薬学 67 (2): 297 ~ 306, 2012.
オステオカルシン	吉村 典子,他:Osteoporosis Japan 13 (3): 759 ~ 765, 2005.
低カルボキシ化オステオカルシン(ucOC)	西村 順,他:医学と薬学 57 (4): 523 ~ 535, 2007.
肝細胞増殖因子(HGF)	二井谷 好行,他:臨床検査 35 (13): 1360 ~ 1364, 1991.
アディポネクチン(LA)	Nishimura A. et al: Clinica Chimica Acta 371: 163 ~ 168, 2006.

### 腫瘍関連抗原

癌胎児性抗原(CEA)	鈴木 尚子,他:医学と薬学 56 (6): 897 ~ 907, 2006.
$\alpha$ -フェトプロテイン定量	鈴木 尚子,他:医学と薬学 56 (6): 897 ~ 907, 2006.
塩基性フェトプロテイン(BFP)	設楽 光弘,他:臨床病理 36 (9): 1039 ~ 1044, 1988.
CA125	黒田 雅顕:医療と検査機器・試薬 29 (6): 589 ~ 596, 2006.
CA602	野澤 志朗,他:癌と化学療法 19 (12): 2085 ~ 2093, 1992.
CA15-3	黒田 雅顕:医療と検査機器・試薬 29 (6): 589 ~ 596, 2006.
BCA225	石 和久,他:基礎と臨床 23 (15): 6087 ~ 6095, 1989.
CA19-9	鈴木 尚子,他:医学と薬学 56 (6): 897 ~ 907, 2006.
CA72-4	矢田 紗世,他:医学と薬学 74 (7): 831 ~ 840, 2017.
シアルルTn抗原(STN)	井村 裕夫,他:癌と化学療法 16 (9): 3213 ~ 3219, 1989.
CA54/61	野澤 志朗,他:癌と化学療法 19 (12): 2085 ~ 2093, 1992.
DUPAN-2	櫻林 郁之介,他:臨床病理 34 (6): 705 ~ 710, 1986.
シアルルLe <sup>x</sup> -i抗原(SLX)	井村 裕夫,他:癌と化学療法 14 (5): 1315 ~ 1321, 1987.
シアルルLe <sup>x</sup> 抗原(CSLEX)	三嶋 芳樹,他:医学と薬学 29 (5): 1193 ~ 1200, 1993.
NCC-ST-439	吉岡 久,他:臨床病理 35 (11): 1233 ~ 1238, 1987.
SPan-1	梅山 馨,他:脾臓 3 (4): 528 ~ 539, 1988.
SCC	渡邊 万里子,他:医学と薬学 72 (2): 181 ~ 188, 2017.
前立腺特異抗原(PSA)	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7): 831 ~ 840, 2017.
PSA-ACT	大野 明美,他:医学と薬学 49 (2): 325 ~ 332, 2003.
PSA F/T比	古屋 実,他:医学と薬学 74 (7): 831 ~ 840, 2017.(フリー PSA)
$\gamma$ -セミノプロテイン( $\gamma$ -Sm)	佐藤 達郎,他:医学と薬学 43 (1): 97 ~ 106, 2000.
シフラ(CYFRA)(サイトケラチン19フラグメント)	黒田 雅顕:医療と検査機器・試薬 29 (6): 597 ~ 602, 2006.
5-S-システニルドーパ(5-S-CD)	Wakamatsu K et al: Clinical Chemistry 40 (3): 495 ~ 496, 1994.
NSE(神経特異エノラーゼ)	矢田 紗世,他:医学と薬学 74 (7): 831 ~ 840, 2017.
PIVKA-II (ECLIA)	高津 和子,他:臨床と研究 73 (11): 2656 ~ 2664, 1996.
ガストリン放出ペプチド前駆体(ProGRP)	山本 典江,他:医療と検査機器・試薬 32 (2): 263 ~ 267, 2009.
血清抗p53抗体	島田 英昭,他:日本臨床外科学会雑誌 64 (7): 1551 ~ 1559, 2003.
血清 HER2タンパク	LuftnerD, et al: The International Journal of Biological Markers 19 (3): 175 ~ 182, 2004.
可溶性メソテリン関連ペプチド	中町 衛,他:医学と薬学 65 (2): 261 ~ 267, 2011.
CCR4タンパク(FCM)	日本臨床検査標準協議会 血液検査標準化検討委員会:日本臨床検査標準協議会会報 18 (2): 69 ~ 107, 2003.

### ウイルス感染症検査

HBVゲノタイプ	田中 靖人,他:臨床病理 57 (1): 42 ~ 47, 2009.
HBV DNA定量	菅原 昌章,他:医学と薬学 73 (10): 1329 ~ 1339, 2016.
HBs抗原(CLEIA)	山口 芳子,他:臨床検査機器・試薬 17 (6): 1161 ~ 1166, 1994.
HBs抗原	志村 嘉彦,他:臨床検査機器・試薬 18 (3): 553 ~ 558, 1995.
HBs抗原(HQ)	戸来 孝,他:医学と薬学 72 (9): 1569 ~ 1577, 2015.
HBs抗体(CLEIA)	山口 芳子,他:臨床検査機器・試薬 17 (6): 1161 ~ 1166, 1994.
HBs抗体	瀧池 正次,他:臨床検査機器・試薬 17 (6): 1173 ~ 1180, 1994.
B型肝炎ウイルスコア関連抗原(HBcrAg)	田中 靖人,他:臨床病理 54 (7): 692 ~ 698, 2006.
HBc抗体(CLIA)	飯田 健一,他:Progress in Medicine 22: 1037 ~ 1046, 2002.
IgM-HBc抗体	熊谷 保之:日本臨床検査自動化学会誌 25 (1): 70 ~ 74, 2000.
HBc抗体(PHA)	森藤 隆夫,他:臨床病理 特(67): 101 ~ 108, 1986.
HBe抗原(CLIA)	宮川 正明,他:医学と薬学 52: 621 ~ 628, 2004.
HBe抗体(CLIA)	宮川 正明,他:医学と薬学 52: 621 ~ 628, 2004.
HBV DNAラミブジン耐性遺伝子	Kobayashi S et al: Hepatology Research 17: 31 ~ 42, 2000.

## 検査項目

## 測定参考文献

### ウイルス感染症検査

HA抗体	矢野 公士,他:医学と薬学 58 (1):151~161,2007.
IgM-HA抗体	矢野 公士,他:医学と薬学 58 (1):151~161,2007.
HCV群別(グルーピング)	長谷川 瞳,他:医学と薬学70 (3):633~641,2013.
HCV RNAコアジェノタイプ	Ohno T et al:Journal of Clinical Microbiology 35 (1):201~207,1997.
HCV RNA 1b(NS5A)	Enomoto N et al:The New England Journal of Medicine 334 (2):77~81,1996.
HCV RNA定量	菅原 昌章,他:医学と薬学 73 (10):1329~1339,2016.
HCV抗原(コア蛋白質)	田原 和子,他:日本臨床検査自動化学会誌 36 (2):267~274,2011.
HCV DCV 耐性変異(L31/Y93)	Uchida Y et al:PLOS ONE 9 (11)e112647:1~7,2014.
IgA-HEV抗体(定性)	飯野 四郎,他:医学と薬学 53 (4):461~469,2005.
ヒトパルボウイルスB19 IgG	要藤 裕孝,他:感染症学雑誌 69 (10):1135~1140,1995.
ヒトパルボウイルスB19 IgM	要藤 裕孝,他:感染症学雑誌 69 (10):1135~1140,1995.
ヒトパルボウイルス B19DNA 定性	Sevall JS:Molecular and Cellular Probes 4:237~246,1990.
ヒトパピローマウイルスDNA(16型,18型,その他ハイリスクグループ)	三浦 俊昭,他:医学と薬学 69 (1):157~162,2013.
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)	Clavel C et al:Diagnostic Molecular Pathology 9 (3):145~150,2000.
ヒトパピローマウイルスDNA(ハイリスクグループ)(LBC)	Ko.V et al:Cancer Cytopathology 108 (6):468~474,2006.
ヒトパピローマウイルス(HPV)ジェノタイプ判定	尾崎 聡,他:臨床病理 60(7):621~626,2012.
ヒトパピローマウイルスDNA(ローリスクグループ)	Clavel C et al:Diagnostic Molecular Pathology 9 (3):145~150,2000.
アデノウイルス抗原(シェル・バイアル法)	Espy MJ et al:American Journal of Clinical Pathology 88 (3):358~360,1987.
アデノウイルス抗原(ELISA)	青木 功喜,他:臨床眼科 43 (6):1035~1039,1989.
アデノウイルス	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886,1988.
アデノウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
アデノウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
アデノウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
アデノウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
アデノウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
アデノウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
アデノウイルス 7型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
アデノウイルス 8型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
アデノウイルス 11型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
アデノウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
アデノウイルス 37型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
単純ヘルペスウイルス特異抗原	川名 尚,他:感染症学雑誌 61 (9):1030~1037,1987.
単純ヘルペスウイルス	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886,1988.
単純ヘルペス ウイルス IgG(固相法)	厚生省監修:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊:48~61,1987.
単純ヘルペス ウイルス IgM	厚生省監修:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊:48~61,1987.
単純ヘルペスウイルス DNA 定性	Cao M et al:J Invest Dermatol 82:391~392,1989.
単純ヘルペスウイルス DNA定量	Stevens J:実験医学 15 (7S):728~733,1997.
単純ヘルペス ウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
単純ヘルペス ウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会:ウイルス実験学 総論 2版(丸善):260~274,1973.
水痘・帯状疱疹ウイルス抗原(FA)	新村 真人,他:感染症学雑誌 64 (2):195~201,1990.
水痘・帯状疱疹ウイルス(CF)	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886,1988.
水痘・帯状疱疹ウイルス IgG	吉田 晃,他:臨床とウイルス 13 (4):490~496,1985.
水痘・帯状疱疹ウイルス IgM	平野 勝,他:医学と薬学 42 (2):641~645,1999.
水痘・帯状疱疹ウイルスDNA 定性	本藤 良,他:日本臨床 50 (特別号):160~165,1992.
サイトメガロウイルス pp65抗原(C10,C11)	浅井 隆善,他:今日の移植 7 (6):553~559,1994.
サイトメガロウイルス pp65抗原(C7-HRP)	権藤 久司,他:臨床血液 34 (11):1438~1444,1993.
サイトメガロウイルス	北村 元仕,他:臨床検査マニュアル(文光堂):880~886,1988.
サイトメガロウイルス IgG	厚生省監修:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊:48~61,1987.
サイトメガロウイルス IgM	厚生省監修:微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊:48~61,1987.



## 検査項目

## 測定参考文献

### ウイルス感染症検査

サイトメガロウイルスDNA 定性	Olive DM et al : Journal of Clinical Microbiology 27 (6) : 1238 ~ 1242, 1989.
サイトメガロウイルス核酸検出(新生児尿)	Mitani Y,et al : Nat Methods 4 (3) : 257 ~ 262, 2007.
サイトメガロウイルス DNA定量	Stevens J : 実験医学 15 (7S) : 728 ~ 733, 1997.
EBウイルスDNA 定性	Saito I et al : J Exp Med 169 : 2191 ~ 2198, 1989.
EBウイルスDNA定量	Stevens J : 実験医学 15 (7S) : 728 ~ 733, 1997.
EBウイルス 抗VCA IgG[EIA]	脇口 宏,他: 医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗VCA IgG[FA]	日沼 頼夫,他: 臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗VCA IgM[EIA]	脇口 宏,他: 医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗VCA IgM[FA]	日沼 頼夫,他: 臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗VCA IgA	日沼 頼夫,他: 臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EA IgG	脇口 宏,他: 医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
EBウイルス 抗EA-DR IgG	日沼 頼夫,他: 臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EA-DR IgA	日沼 頼夫,他: 臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EBNA	日沼 頼夫,他: 臨床病理 特(35) : 179 ~ 189, 1978.
EBウイルス 抗EBNA IgG	脇口 宏,他: 医学と薬学 58 (2) : 363 ~ 369, 2007.
ヒトヘルペス ウイルス6型 IgG	浅野 喜造,他: 臨床と微生物 16 (2) : 147 ~ 152, 1989.
ヒトヘルペス ウイルス6型 IgM	浅野 喜造,他: 臨床と微生物 16 (2) : 147 ~ 152, 1989.
ヒトヘルペスウイルス6型DNA 定性	近藤 一博,他: 蛋白質核酸酵素 35 (17) : 3041 ~ 3047, 1990.
ヒトヘルペスウイルス7型DNA 定性	Yalcin S et al : Archives of Virology 136 : 183 ~ 190, 1994.
ポリオウイルス 1型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
ポリオウイルス 2型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
ポリオウイルス 3型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エンテロ ウイルス 70型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エンテロ ウイルス 71型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群2型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群3型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群4型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群6型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群7型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群9型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群9型(CF)	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル (文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス A群10型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス A群16型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群1型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群1型(CF)	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル (文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群2型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群2型(CF)	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル (文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群3型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群3型(CF)	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル (文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群4型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群4型(CF)	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル (文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群5型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群5型(CF)	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル (文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
コクサッキーウイルス B群6型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
コクサッキーウイルス B群6型(CF)	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル (文光堂) : 880 ~ 886, 1988.
エコーウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 3型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 3型(HI)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 214 ~ 225, 1973.
エコーウイルス 4型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 5型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 6型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 7型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 7型(HI)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 214 ~ 225, 1973.
エコーウイルス 9型	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 11型(NT)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 260 ~ 274, 1973.
エコーウイルス 11型(HI)	国立予防衛生研究所学友会: ウイルス実験学 総論 2版 (丸善) : 214 ~ 225, 1973.

## 検査項目

## 測定参考文献

### ウイルス感染症検査

エコーウイルス 12型(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 12型(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：214～225, 1973.
エコーウイルス 13型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 14型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 16型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 17型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 18型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 19型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 21型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 22型(パレコウイルス1型)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 24型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 25型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：260～274, 1973.
エコーウイルス 30型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：260～274, 1973.
日本脳炎ウイルス(JaGAR株)	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第2分冊：81～97, 1987.
日本脳炎ウイルス	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル (文光堂)：880～886, 1988.
風疹ウイルス	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：214～225, 1973.
風疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
風疹ウイルス IgM	佐藤 俊則,他：臨床とウイルス 23 (1)：44～47, 1995.
インフルエンザウイルス A型(H1N1)(H3N2)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：260～274, 1973.
インフルエンザウイルス A型	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル (文光堂)：880～886, 1988.
インフルエンザウイルス B型(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：214～225, 1973.
インフルエンザウイルス B型(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル (文光堂)：880～886, 1988.
パラインフルエンザウイルス 1型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：214～225, 1973.
パラインフルエンザウイルス 2型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：214～225, 1973.
パラインフルエンザウイルス 3型	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：214～225, 1973.
RSウイルス(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル (文光堂)：880～886, 1988.
RSウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：260～274, 1973.
麻疹ウイルス(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：214～225, 1973.
麻疹ウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：260～274, 1973.
麻疹ウイルス IgG	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
麻疹ウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
ムンプスウイルス(HI)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：214～225, 1973.
ムンプスウイルス(NT)	国立予防衛生研究所学友会：ウイルス実験学 総論 2版 (丸善)：260～274, 1973.
ムンプスウイルス(CF)	北村 元仕,他：臨床検査マニュアル (文光堂)：880～886, 1988.
ムンプスウイルス IgG	中山 哲夫：医学と薬学 42 (2)：303～306, 1999.
ムンプスウイルス IgM	厚生省監修：微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊：48～61, 1987.
HTLV-I (ATLV) 抗体(PA)	池田 幹雄,他：図説臨床症シリーズ 9：42～50, 1986.
HTLV-I (ATLV) 抗体(CLEIA)	植柳 泰,他：医学と薬学 73 (8)：1031～1035, 2016.
HTLV-1抗体	Zrein M, et al：Clin Diagn Lab Immunol 5 (1)：45～49, 1998.
HTLV-1核酸検出(妊婦) 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80 (21)：10683～10691, 2006.
HTLV-1プロウイルスDNA 定性	Miyazato P, et al：Journal of Virology 80 (21)：10683～10691, 2006.
HTLV-I (ATLV) プロウイルスDNA(クロナリティ)	渡辺 俊樹,他：Meidical Immunology 16 (6)：785～791, 1988.
HIV-1RNA定量	目崎 和久,他：医学と薬学 73 (6)：705～709, 2016.
HIV-2抗体	菱田 靖,他：医学と薬学 27 (4)：959～970, 1992.
HIV抗原・抗体	新田 幸一,他：医学と薬学 57 (2)：231～237, 2007.
ロタウイルス抗原	篠崎 立彦,他：小児科臨床 41 (2)：397～400, 1988.
ノロウイルス抗原	田中 智之：医学と薬学 61 (1)：93～98, 2009.
ノロウイルスRNA定性	Kageyama T, et al：J Clin Microbiol 41 (4)：1548～1557, 2003.
デングウイルスNS1抗原	Pok, et al：VECTOR-BORNE AND ZONOTIC DISEASES 10 (10)：1009～1016, 2010.

### 感染症(非ウイルス)関連検査

クラミジアトラコマティス IgA	松本 明,他：感染症学雑誌 66 (5)：584～591, 1992.
クラミジアトラコマティス IgG	松本 明,他：感染症学雑誌 66 (5)：584～591, 1992.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 感染症(非ウイルス)関連検査

クラミジアトラコマトイス IgM	松本 明,他: 感染症学雑誌 66 (5): 584 ~ 591, 1992.
クラミジアトラコマトイスDNA	熊本 悦明,他: 医学と薬学 66 (6): 1007 ~ 1014, 2011.
オーム病クラミドフィラ(クラミジア シッタシ)	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル (文光堂): 880 ~ 886, 1988.
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ IgG	厚生省監修: 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊: 62 ~ 75, 1987.
クラミドフィラ(クラミジア)シッタシ IgM	厚生省監修: 微生物検査必携 ウイルス・クラミジア・リケッチア検査 第3版 第1分冊: 62 ~ 75, 1987.
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgG	松本 明: 第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgA	松本 明: 第22回日本臨床微生物学会総会ワークショップ1
クラミドフィラ(クラミジア)ニューモニエ IgM	宮下 修行,他: 小児科診療 71 (1): 95 ~ 99, 2008
抗ストレプトリジン-O 抗体(ASO)	伊藤 忠一: 日本臨床 39 (6): 685 ~ 688, 1995.
抗ストレプトキナーゼ抗体(ASK)	土屋 彦治,他: 臨床検査機器・試薬 7 (2): 417 ~ 422, 1984.
エンドキシン定量	土谷 正和,他: 日本細菌学雑誌 45 (6): 903 ~ 911, 1990.
透析液中エンドトキシン A液	相沢 真紀,他: 腎と透析 55 別冊: 68 ~ 70, 2003.
透析液中エンドトキシン B液	相沢 真紀,他: 腎と透析 55 別冊: 68 ~ 70, 2003.
透析液中エンドトキシン RO水	相沢 真紀,他: 腎と透析 55 別冊: 68 ~ 70, 2003.
透析液中エンドトキシン 調整液	相沢 真紀,他: 腎と透析 55 別冊: 68 ~ 70, 2003.
透析液中エンドトキシン その他	相沢 真紀,他: 腎と透析 55 別冊: 68 ~ 70, 2003.
ブルセラ凝集反応	Carmichael LE et al : J Am Veterinary Medical Association 152 (6): 605 ~ 616, 1968.
百日咳抗体[EIA]	岡田 賢司: 医学と薬学 65 (4): 531 ~ 536, 2011.
抗ヘリコバクターピロリIgG抗体	菊地 正悟,他: 医学と薬学 43 (3): 581 ~ 586, 2000.
便中ヘリコバクターピロリ抗原	福田 雅之助,他: 医学と薬学 62 (3): 501 ~ 506, 2009.
梅毒定性 RPR(LA)	桜庭 尚哉: 医学と薬学 63 (1): 103 ~ 109, 2010.
梅毒定量 RPR(LA)	桜庭 尚哉: 医学と薬学 63 (1): 103 ~ 109, 2010.
梅毒定性 TP抗体(LA)	高橋 勝幸,他: 機器・試薬 33 (1): 89 ~ 95, 2010.
梅毒定量 TP抗体(LA)	高橋 勝幸,他: 機器・試薬 33 (1): 89 ~ 95, 2010.
梅毒定量TPHA	山口 松夫,他: 感染症学雑誌 68 (10): 1271 ~ 1277, 1994.
FTA-ABS	山屋 駿一: 微生物検査必携 細菌・真菌検査 第3版: H83 ~ H91, 1995.
寒冷凝集反応	原島 典子,他: 衛生検査 27 (1): 67 ~ 71, 1978.
マイコプラズマニューモニエ(CF)	北村 元仕,他: 臨床検査マニュアル (文光堂): 880 ~ 886, 1988.
マイコプラズマニューモニエ(PA)	大関 トシイ,他: 自治医科大学臨床検査技師年報 12: 62 ~ 64, 1988.
ツツガムシカーブ IgG	山本 正悟: 臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシカーブ IgM	山本 正悟: 臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシカーブ IgG	山本 正悟: 臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシカーブ IgM	山本 正悟: 臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシギリアム IgG	山本 正悟: 臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
ツツガムシギリアム IgM	山本 正悟: 臨床とウイルス 12 (3): 270 ~ 274, 1984.
クリプトコックス・ネオフォルマンス抗原	篠田 孝子,他: 真菌と真菌症 30 (3): 211 ~ 221, 1989.
カンジダマンナン抗原	新崎 晃弘,他: 臨床検査機器・試薬 23 (3): 197 ~ 203, 2000.
カンジダ抗原	相原 守夫,他: 臨床検査 34 (3): 367 ~ 370, 1990.
アスペルギルス抗体	浜本 恒男: 臨床と微生物 15 (3): 352 ~ 356, 1988.
アスペルギルス抗原	見手倉 久治,他: 医学と薬学 42 (1): 207 ~ 212, 1999.
β-D-グルカン	吉田 耕一郎,他: 感染症学雑誌 79 (7): 433 ~ 442, 2005.
トリコスポロン・アサヒ抗体	三宅 修司,他: 日本呼吸器学会誌 39 (1): 7 ~ 11, 2001.
トキソプラズマ IgG抗体	亀井 喜世子,他: 臨床病理 42 (7): 743 ~ 747, 1994.
トキソプラズマ IgM抗体	亀井 喜世子,他: 臨床病理 42 (7): 743 ~ 747, 1994.
抗アニサキスIgG・A抗体	安土 孝則,他: 臨床検査機器・試薬 15 (1): 68 ~ 72, 1992.
結核菌特異的IFN-γ	Meier T, et al : European Journal of Clinical Microbiology & Infectious Diseases 24: 529 ~ 536, 2005.

### 自己免疫関連検査

抗核抗体(ANA)	東條 毅: 臨床検査 30 (7): 687 ~ 692, 1986.
抗DNA抗体(RIA)	鈴木 王洋,他: 臨床免疫 25 (8): 1096 ~ 1102, 1993.
抗ss-DNA IgG抗体	陣内 記代,他: 日本臨床検査自動化学会誌 26 (6): 747 ~ 753, 2001.
抗ss-DNA IgM抗体	山下 雅樹,他: 医学と薬学 58 (5): 763 ~ 767, 2007.
抗ds-DNA IgG抗体	陣内 記代,他: 日本臨床検査自動化学会誌 26 (6): 747 ~ 753, 2001.
抗ds-DNA IgM抗体	山下 雅樹,他: 医学と薬学 58 (5): 763 ~ 767, 2007.
抗Sm抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第30版 (金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗Sm抗体(CLEIA)	西山 進,他: 医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗RNP抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第30版 (金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗RNP抗体(CLEIA)	西山 進,他: 医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗SS-A/Ro抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第30版 (金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗SS-A/Ro抗体(CLEIA)	西山 進,他: 医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.
抗SS-B/La抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他: 臨床検査法提要 第30版 (金原出版): 973 ~ 975, 1993.
抗SS-B/La抗体(CLEIA)	西山 進,他: 医学と薬学 68 (2): 345 ~ 355, 2012.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 自己免疫関連検査

抗Scl-70抗体(オクタロニー法)	金井 正光,他:臨床検査法提要 第30版(金原出版):973~975,1993.
抗Scl-70抗体(CLEIA)	松下 雅和,他:医学と薬学 70(1):109~117,2013.
抗RNAポリメラーゼⅢ抗体	桑名 正隆:リウマチ科 40(3):239~245,2008.
抗セントロメア抗体	宮脇 昌二,他:医学と薬学 45(1):129~135,2001.
抗Jo-1抗体(オクタロニー法)	西海 正彦:臨床検査機器・試薬 13(4):835~838,1990.
抗Jo-1抗体(CLEIA)	松下 雅和,他:医学と薬学 70(1):109~117,2013.
抗ARS抗体	山田 祐介,他:リウマチ科 45(2):133~138,2011.
リウマチ因子(RF) 定量	向田 直史,他:臨床検査 31(6):603~609,1987.
IgG型リウマチ因子	栗原 夕子,他:リウマチ科 22(5):499~510,1999.
抗ガラクトース欠損IgG抗体	平山 吉郎,他:医学と薬学 42(5):817~828,1999.
抗シトルリニ化ペプチド(CCP)抗体	山下 里美,他:医学と薬学 66(3):569~576,2011.
抗ミトコンドリア抗体	山内 進,他:臨床免疫 7(7):825~830,1975.
抗ミトコンドリア M2抗体	丹野 瑞木,他:医学と薬学 67(3):485~495,2012.
抗平滑筋抗体	山内 進:臨床免疫 7(7):825~830,1975.
抗胃壁細胞抗体	山内 進:衛生検査 22(12):1085~1089,1973.
抗内因子抗体	Elizabeth A.Gomez et al: Clinical Chemistry 51(1):232~235,2005.
抗甲状腺 マイクロソーム抗体(マイクロソームテスト)	土屋 彦治,他:臨床検査 28(1):99~101,1984.
抗甲状腺 ペルオキシダーゼ抗体(抗TPO抗体)	古屋 実,他:医学と薬学74(3):317~326,2017.
抗甲状腺 サイログロブリン抗体(サイロイドテスト)	土屋 彦治,他:臨床検査機器・試薬 6(4):1007~1010,1983.
抗サイログロブリン抗体	古屋 実,他:医学と薬学74(3):317~326,2017.
TSH刺激性レセプター抗体(TSAb)	上條 桂一,他:医学と薬学 71(5):903~911,2014.
TSHレセプター抗体(定量)	小森 明日香,他:医学と薬学 46(4):563~570,2001.
TSHレセプター抗体(第3世代)	古屋 実,他:医学と薬学74(3):317~326,2017.
抗GAD抗体	及川 洋一,他:医学と薬学 72(9):1551~1560,2015.
抗IA-2抗体	川崎 英二,他:医学と薬学 66(2):345~352,2011.
亜鉛トランスポーター 8 (ZnT8)抗体	Eiji Kawasaki et al: Acta Diabetol 51(3):429~434,2014.
インスリン抗体	内湯 安子,他:医学と薬学 65(4):525~530,2011.
抗アセチルコリンレセプター抗体(抗AChR抗体)	太田 光照,他:ホルモンと臨床 48(1):89~93,2000.
ミエリン塩基性蛋白(MBP)	Ohta M et al: Clinical Chemistry 46(9):1326~1330,2000.
抗筋特異的チロシンキナーゼ抗体(抗MuSK抗体)	本村 政勝,他:医学と薬学 70(2):421~428,2013.
抗デスマグレイン1抗体	吉田 かおり,他:医学と薬学 70(5・6):989~1000,2013.
抗デスマグレイン3抗体	吉田 かおり,他:医学と薬学 70(5・6):989~1000,2013.
抗BP180抗体(血清中抗BP180NC16a抗体)	吉田 かおり,他:医学と薬学 70(5・6):989~1000,2013.
抗糸球体基底膜抗体(抗GBM抗体)	白井 丈一,他:医学と薬学 68(4):697~704,2012.
精子不動化抗体	香山 浩二:日本産科婦人科学会雑誌 42(11):N209~N212,1990.
精子不動化抗体(SI50)	香山 浩二:日本産科婦人科学会雑誌 42(11):N209~N212,1990.
ループスアンチコアグラント[APTT凝固時間法]	後藤 守孝,他:Modern Physician 15(12):1545~1550,1995.
ループスアンチコアグラント[希釈ラッセル蛇毒時間法]	佐藤 久美子,他:臨床病理 43(3):263~268,1995.
抗カルジオリピン $\beta$ 2グリコプロテイン I 複合体抗体(抗CL $\cdot$ $\beta$ 2GP I抗体)	野島 順三,他:医学と薬学 32(6):1315~1320,1994.
抗カルジオリピン抗体(IgG)	岡田 純,他:医学と薬学 36(6):1389~1394,1996.
抗カルジオリピン抗体(IgM)	鎌木 淳一,他:医学と薬学 43(6):1183~1188,2000.
抗血小板抗体	柴田 洋一:輸血学(中外医学社):457~470,1978.
PAIlgG(血小板関連IgG)	林 悟,他:臨床病理 32(11):1253~1257,1984.
HIT抗体(血小板第4因子 $\cdot$ ヘパリン複合体抗体)	阪田 敏幸:医学と薬学 68(3):547~555,2012.
抗好中球細胞質抗体(PR3-ANCA)	松下 雅和,他:医学と薬学 66(5):823~828,2011.
抗好中球細胞質抗体(MPO-ANCA)	松下 雅和,他:医学と薬学 66(5):823~828,2011.
抗LKM-1抗体	竹村 真理,他:医学と薬学 46(1):109~114,2001.
免疫複合体(C1q)	中村 敏男,他:臨床免疫 14(S5):92~100,1982.
免疫複合体(モノクローナルRF)	森 勝志,他:医学と薬学 27(2):347~354,1992.
抗アクアポリン4抗体	高橋 利幸,他:医学と薬学 73(10):1297~1300,2016.
抗表皮成分自己抗体(直接法)	川生 明:病理と臨床 6(増):10~13,1988.

### 免疫血液学の検査

ABO式血液型	長田 広司:医薬ジャーナル 32(S1):215~219,1996.
Rh(D因子)式血液型	長田 広司:医薬ジャーナル 32(S1):215~219,1996.
Rh-Hr式血液型	河瀬 正晴:最新刊新輸血検査マニュアル:83~101,1994.
直接クームス試験	河瀬 正晴:最新刊新輸血検査マニュアル:1~13,1994.
間接クームス試験(定性・定量)	河瀬 正晴:最新刊新輸血検査マニュアル:1~13,24~25,1994.
不規則性抗体(定性)	押野 正次,他:臨床検査機器・試薬 17:423~432,1994.
不規則性抗体(定量)	河瀬 正晴:最新刊新輸血検査マニュアル:105~193,1994.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 免疫グロブリン

IgG	長石 有紀,他:臨床検査 44:917~920,2000.
IgA	長石 有紀,他:臨床検査 44:917~920,2000.
IgM	長石 有紀,他:臨床検査 44:917~920,2000.
IgGサブクラス分画(TIA)	川 茂幸,他:医学と薬学 74(4):463~470,2017.
IgG2	川 茂幸,他:医学と薬学 74(4):463~470,2017.
IgG4	川 茂幸,他:医学と薬学 74(4):463~470,2017.
免疫電気泳動(抗ヒト全血清による同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版:8~26,1977.
免疫電気泳動(特異抗血清による同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版:8~26,1977.
免疫グロブリン遊離L鎖κ/λ比(フリーライトチェーン)	伊藤 早織,他:医学と薬学 64(1):111~117,2010.
尿中免疫電気泳動(尿中ベンスジョーンズ蛋白の同定)	大谷 英樹,他:日常検査法シリーズ11 免疫電気泳動 2版:8~26,1977.
オリゴクローナルバンド	佐々木 征治,他:最新電気泳動実験法(医歯薬出版):61~74,1999.
クリオグロブリン定性	青木 紀生,他:Medical Technology 6(8):619~624,1978.

### 補体および関連物質

血清補体価	中藤 聡子,他:臨床検査機器・試薬 19(4):609~613,1996.
C3	長石 有紀,他:臨床検査 44:917~920,2000.
C4	長石 有紀,他:臨床検査 44:917~920,2000.
C1q	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
C1インアクチベーター活性(C1エステラーゼインヒビター活性)	Dick W et al:Immun Infekt 13:113~118,1985.

### 血漿蛋白

プレアルブミン	古田島 伸雄,他:日本臨床検査自動化学会誌 32(1):84~88,2007.
α <sub>1</sub> -マイクログロブリン	中野 卓,他:臨床検査機器・試薬 11(3):469~476,1988.
α <sub>1</sub> アンチトリプシン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
α <sub>1</sub> アシドグロブリン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
レチノール結合蛋白(RBP)	古田島 伸雄,他:日本臨床検査自動化学会誌 32(1):84~88,2007.
α <sub>2</sub> -マクログロブリン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
ハプトグロビン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
セルロプラスミン	櫻林 郁之介,他:臨床病理 特(53):71~81,1983.
CDT/トランスフェリン比	山田 真子,他:アルコールと医学生物学 29:72~77,2010.
トランスフェリン	伊藤 忠一:検査と技術 16(7):593~598,1988.
尿中トランスフェリン(クレアチニン換算値)	齋藤 良一,他:日本臨床検査自動化学会誌 25(5):687~690,2000.
β <sub>2</sub> -マイクログロブリン(血清)	伊藤 喜久,他:臨床病理 30:1118~1122,1982.
β <sub>2</sub> -マイクログロブリン(尿)	伊藤 喜久,他:臨床病理 30:1118~1122,1982.
C反応性蛋白(CRP)定量	河合 忠,他:臨床検査機器・試薬 20(4):503~517,1997.
ペントラキシン3(PTX3)	Inoue et al:Arterioscler Thromb Vasc Biol. 27(1):161~167,2007.
血清アミロイドA蛋白(SAA)	永徳 広美,他:生物物理化学 37(1):19~23,1993.
ミオグロビン	吉川 文雄,他:医学と薬学 37(5):1243~1253,1997.
尿中ミオグロビン	吉川 文雄,他:医学と薬学 37(5):1243~1253,1997.
ヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白(H-FABP)	藤田 孝,他:医療と検査機器・試薬 33(5):629~632,2010.
心室筋ミオシン軽鎖I	宮崎 修一,他:医学と薬学 52(3):443~449,2004.
心筋トロポニンT	古屋 実,他:医学と薬学74(5):607~617,2017.
フェリチン	唐澤 美佳,他:医療と検査機器・試薬 29(5):493~497,2006.
L型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)(CLEIA)	富田 健一郎,他:医学と薬学 72(8):1389~1395,2015.
尿中NGAL	Cullen MR, et al:Ann Clin Biochem 49(2):190~193,2012.
ヒト癌胎児性フィブロネクチン	Lockwood CJ et al:The New England Journal of Medicine 325(10):669~674,1991.
I型プロコラーゲン-N-プロペプチド(total P1NP)	日高 好博:医学と薬学70(2):357~365,2013.
I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド(NTx)	Hanson DA et al:Journal of Bone and Mineral Research 7(11):1251~1258,1992.
I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド(NTx)(骨粗鬆症)	Hanson DA et al:Journal of Bone and Mineral Research 7(11):1251~1258,1992.
I型コラーゲンC末端 テロペプチド(ICTP)	清原 剛,他:ホルモンと臨床 42(12):1189~1193,1994.
Mac-2 結合蛋白糖鎖修飾異性体(M2BPGI)	柴田 宏,他:臨床病理 63(1):72~77,2015.
オートタキシン	島本 怜史,他:東ソ一研究・技術報告 第61巻:99~103,2017.
プロコラーゲンⅢペプチド(P-Ⅲ-P)[CLIA]	北原 志穂,他:医学と薬学 72(9):1579~1590,2015.
尿中Ⅳ型コラーゲン	小幡 賢一,他:臨床検査機器・試薬 18(3):439~444,1995.
Ⅳ型コラーゲン・7S	長田 篤雄,他:医学と薬学 20(6):1507~1515,1988.
デオキシピリジノリン	山本 逸雄,他:ホルモンと臨床 44(7):747~757,1996.
デオキシピリジノリン(DPD)(骨粗鬆症)	山本 逸雄,他:ホルモンと臨床 44(7):747~757,1996.
ECP	栗原 和幸,他:アレルギー 41(4):512~518,1992.
KL-6	西村 順,他:医学と薬学 41(6):1159~1172,1999.
プロカルシトニン(PCT)	小林 一三,他:医学と薬学 73(4):459~467,2016.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 免疫血清学(その他)

リン酸化タウ蛋白	B Van Everbroeck et al : J Neurol Neurosurg Psychiatry 73 : 79 ~ 81, 2002.
タウ蛋白	T.Nishimura.et al. : Methods Findings 20 : 227 ~ 236, 1998.

### サイトカイン

可溶性IL-2レセプター	丹部 絵梨,他: 医療と検査機器・試薬 37 (5) : 649 ~ 657, 2014.
TARC(Th2ケモカイン)	安江 智美,他: アレルギーの臨床 34 (10) : 60 ~ 65, 2014.
IL-4 (インターロイキン-4)(高感度)	Kricka LJ : Clinical Chemistry 37 (9) : 1472 ~ 1481, 1991.
IL-6 (インターロイキン-6)	竹村 正男,他: 医学と薬学 36 (5) : 1071 ~ 1076, 1996.
IL-10 (インターロイキン-10)	Groote DD et al : Journal of Immunological Methods 177 : 225 ~ 234, 1994.
GM-CSF(顆粒球・マクロファージコロニー刺激因子)	木村 文彦,他: 日本臨床 53 (増刊号(中)) : 806 ~ 809, 1995.

### HLA

HLA-A,B(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他: MHC 10 (1) : 21 ~ 31, 2003.
HLA-A(DNAタイピング)	石川 善英: MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-B(DNAタイピング)	石川 善英: MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-C(DNAタイピング)	石川 善英: MHC 5 (2) : 96 ~ 100, 1998.
HLA-DR(血清対応型タイピング)	吉川 枝里,他: MHC 10 (1) : 21 ~ 31, 2003.
HLA-DRB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他: MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.
HLA-DPB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他: MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.
HLA-DQA1 (DNAタイピング)	浅見 あすか,他: MHC 7 (2) : 111 ~ 112, 2000.
HLA-DQB1 (DNAタイピング)	成瀬 妙子,他: MHC 5 (2) : 101 ~ 106, 1998.

### アレルギー検査

IgE(非特異的IgE)(CLEIA)	榎本 雅夫,他: アレルギーの臨床 23 (1) : 62 ~ 66, 2003.
特異的IgE(MAST36アレルギー)	中川 武正,他: アレルギーの臨床 26 (3) : 238 ~ 242, 2006.
特異的IgE(ミックスアレルギー)	右田 忍,他: 医学と薬学 48 (1) : 101 ~ 107, 2002.
特異的IgE(シングルアレルギー)(CLEIA)	右田 忍,他: 医学と薬学 48 (1) : 101 ~ 107, 2002.
アトピー鑑別試験(12種吸入性アレルギー)	奥田 勲,他: 医学検査 46 (10) : 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE(シングルアレルギー)(FEIA)	奥田 勲,他: 医学検査 46 (10) : 1525 ~ 1530, 1997.
特異的IgE(Ara h 2)(ピーナッツ由来)	奥田 勲,他: 医学検査 46 (10) : 1525 ~ 1530, 1997.

### 尿一般検査

尿一般定性検査(蛋白・糖・比重・pH・ウロビリノーゲン・ビリルビン・ケトン体・潜血)	金井 泉原著: 臨床検査法提要改訂第32版: 161 ~ 199, 2005.
蛋白定量(尿)	田中 雅美,他: 機器・試薬 33 : 393 ~ 397, 2010.
糖定量(尿)	金井 泉,他: 臨床検査法提要 第30版 (金原出版) : 99 ~ 105, 1993.
尿沈渣	『尿沈渣検査法2010』日本臨床検査標準協議会(JCCLS)尿沈渣検査法GP1-P4

### 糞便検査

虫卵(塗抹)	金井 泉,他: 臨床検査法提要 第30版 (金原出版) : 192 ~ 208, 1993.
虫卵(集卵)	金井 泉,他: 臨床検査法提要 第30版 (金原出版) : 192 ~ 208, 1993.
虫体鑑別	吉村 裕行: 寄生虫学: 第6版, 1978.
便中ヘモグロビン及びトランスフェリン	加藤 節子,他: 機器・試薬 29 (5) : 473 ~ 478, 2006.
便中ヘモグロビン定性・定量(金コロイド法)	加藤 節子,他: 機器・試薬 29 (5) : 473 ~ 478, 2006.
消化状態	金井 泉,他: 臨床検査法提要 第30版 (金原出版) : 179 ~ 182, 1993.

### 一般検査(その他)

蛋白定量(髄液)	田中 雅美,他: 機器・試薬 33 : 393 ~ 397, 2010.
細胞数(髄液)	金井 泉,他: 臨床検査法提要 第29版 (金原出版) : 1119 ~ 1120, 1983.
細胞種類(髄液)	金井 泉,他: 臨床検査法提要 第29版 (金原出版) : 1120 ~ 1122, 1983.
バンディ反応(髄液)	金井 泉,他: 臨床検査法提要 第29版 (金原出版) : 1125 ~ 1126, 1983.
ノンネアペルト反応(髄液)	金井 泉,他: 臨床検査法提要 第29版 (金原出版) : 1125 ~ 1126, 1983.
蛋白定量(胸水、腹水)	田中 雅美,他: 機器・試薬 33 : 393 ~ 397, 2010.
比重(胸水、腹水)	金井 泉,他: 臨床検査法提要 第29版 (金原出版) : 215, 1983.
細胞数(胸水、腹水)	金井 泉,他: 臨床検査法提要 第29版 (金原出版) : 1119 ~ 1120, 1983.
細胞種類(胸水、腹水)	今井 宣子,他: 検査と技術増刊号18 : 701 ~ 791, 1990.
リバルタ反応(胸水、腹水)	金井 泉,他: 臨床検査法提要 第29版 (金原出版) : 215, 1983.

## 検査項目

## 測定参考文献

### 微生物学的検査

塗抹鏡検(一般細菌、真菌、糸状菌、酵母様菌)	染色法のすべて: Med Tech(別冊): 286 ~ 288, 1988.
塗抹鏡検(真菌: 白せん菌)	阿部 美知子: Med Tech14: 208 ~ 211, 1986.
培養同定(一般細菌、真菌)	John G H: Bergey's Manual of Systematic Bacteriology 1: 1984 and 2, 1986.
マイコプラズマ培養	佐々木 正五,他: マイコプラズマ, 講談社, 1974.
トリコモナス培養	山中 喜代治,他: 最新検査 Vol.6 No.2: 85 ~ 91,1988.
ヘリコバクターピロリ培養同定	伊藤 武: 臨床と微生物 24: 289 ~ 296, 1997.
ヘリコバクターピロリ薬剤感受性検査	川上 小夜子: 検査と技術 25: 671 ~ 672,1997.
病原性大腸菌血清型別	デンカ生研添付文書集: 病原大腸菌免疫血清「生研」: 5 ~ 7,1991.
臨床材料以外の培養	院内感染対策マニュアル,改訂第2版: 院内感染対策研究会編,1992.
尿定量培養(簡易培養検査)	The Japanese Journal of Antibiotics 48: 155 ~ 161,1995.
バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)スクリーニング	「感染症新法に基づく医師から都道府県知事等への届出のための基準について」厚生省健医感第46号(平成11年3月30日)
一般細菌薬剤感受性検査(微量液体希釈法)	NCCLS Document M7 ~ A4,2000.
一般細菌薬剤感受性検査(感受法ディスク法)	NCCLS Document M2 ~ A6,2000.
MRSAスクリーニング(臨床材料)	田口 文章,他: 日本細菌学雑誌 47: 759 ~ 765,1996.
大腸菌ヘクトキシン	甲斐 明美: 日本細菌学会誌 44: 434,1989.
大腸O-157スクリーニング検査	小杉 万千: Med Tech(カラーアトラス微生物検査): 132 ~ 135,1996.
CDトキシン(GDH)	蔵田 訓,他: 臨床と微生物 37 (5): 465 ~ 470,2010.
環境MRSAスクリーニング	長谷川 美幸,他: モダンメディア 42: 22 ~ 28,1996.
レジオネラ定量培養(環境水)	厚生省監修: レジオネラ症防止指針: 日本公衆衛生協会,1994.
レジオネラ培養同定(臨床材料以外)	三輪田 俊夫監修: 医学細菌学 2: 365 ~ 442,1987.
培養同定(落下細菌、拭き取り材料)	恵口 利一郎: 環境管理技術 4: 110 ~ 117,1986.
生菌数定量	細菌学実習提要,改訂第5版: 医科学研究所学友会編: 171 ~ 173,1976.
(抗酸菌)塗抹鏡検(集菌蛍光法)	日本結核病学会編: 新結核菌検査指針: 結核予防会,2000.
抗酸菌培養	日本結核病学会編: 新結核菌検査指針: 結核予防会,2000.
抗酸菌薬剤感受性検査	厚生省監修: 結核菌検査指針: 日本公衆衛生協会,1979.
結核菌DNA	米丸 亮,他: 日本呼吸器学会雑誌 47 (12): 1070 ~ 1076,2009.
MAC DNA	米丸 亮,他: 日本呼吸器学会雑誌 47 (12): 1070 ~ 1076,2009.
抗酸菌群(DDH)	安部 千代治,他: 新結核菌検査指針, 東京財団法人結核予防会2000.

### 培養同定検査

ニューモシスチスカリニ(P.jirovecii)DNA	Wakefield AE et al: The Lancet 336: 451 ~ 453, 1990.
マイコプラズマニューモニエDNA	山口 恵三,他: 医学と薬学 58 (4): 565 ~ 571, 2007.
百日咳菌DNA	Kamachi K,et al: J Clin Microbiol 44 (5): 1899 ~ 1902, 2006.
赤痢アメーバDNA 定性	Tachibana H,et al: J Infect Dis 164 (4): 825 ~ 826, 1991.
淋菌DNA	熊本 悦明,他: 医学と薬学 66 (6): 1007 ~ 1014, 2011.
淋菌およびクラミジアトラコマチスrRNA同時同定	松田 静治,他: 日本性感染症学会誌 15 (1): 116 ~ 126, 2004.
淋菌およびクラミジアトラコマチスDNA同時同定	熊本 悦明,他: 医学と薬学 66 (6): 1007 ~ 1014, 2011.
結核菌群核酸同定[リアルタイムPCR]	米丸 亮,他: 日本呼吸器学会雑誌 47 (12): 1070 ~ 1076, 2009.
MAC核酸同定[リアルタイムPCR]	米丸 亮,他: 日本呼吸器学会雑誌 47 (12): 1070 ~ 1076, 2009.
ウイルス分離	Hsiung GD: Diagnostic Virology An Illustrated Handbook: 3 ~ 20, 1973.
ウイルス同定	Hsiung GD: Diagnostic Virology An Illustrated Handbook: 3 ~ 20, 1973.

### AIRS®・AICS®

男性 AIRS	Kazutaka Shimbo et al: Biomedical Chromatography 24: 683 ~ 691,2010.
女性 AIRS	Kazutaka Shimbo et al: Biomedical Chromatography 24: 683 ~ 691,2010.
男性 AICS(5種)	Kazutaka Shimbo et al: Biomedical Chromatography 24: 683 ~ 691,2010.
女性 AICS(6種)	Kazutaka Shimbo et al: Biomedical Chromatography 24: 683 ~ 691,2010.

### ウイルス感染症検査

水痘・帯状疱疹ウイルスDNA定量	Kimura H et al: The Journal of Infectious Diseases 178: 310 ~ 317, 1998.
HCV 1b-IFN/リバリリン変異	Akuta N,et al: Intervirology 48: 372 ~ 380, 2005.
麻疹ウイルス(PA)ワクチン	栄 賢司,他: 臨床とウイルス 20 (1): 35 ~ 40, 1992.

### その他特殊検査

亜硝酸/硝酸イオン	Green LC et al: Analytical Biochemistry 126: 131 ~ 138, 1982.
レプチン	鈴木 茂夫,他: Bio Clinica 13 (12): 1049 ~ 1052, 1998.
高分子量アディポネクチン(CLEIA)	折津 政江,他: 医学と薬学 62 (5): 891 ~ 898, 2009.
抗ミューラー管ホルモン(AMH)	浅田 義正,他: 医学と薬学 72 (1): 109 ~ 118, 2015.

### 自己抗体検査

抗皮膚抗体	吉岡 順子: 皮膚 23 (1): 29 ~ 54, 1981.
抗ランゲルハンス氏島 抗体(ICA)	Bonifacio E et al: The Lancet 355: 147 ~ 149, 1990.
抗好中球抗体	Lalezari P et al: Manual of Clinical Laboratory Immunohematology 4th Ed: 344 ~ 350, 1992.